

1. 単元名 表紙づくり

2. 本時の概要

本時は、これまで生徒が取り組んできた探究学習の成果を1冊のレポートとしてまとめるための「表紙づくり」と「製本計画」を主眼とする。レポートを単なる資料ではなく一つの「作品」として完成させるために、タイトル、学校名、学年、氏名を網羅した表紙を作成する。特にタイトルに関しては、読み手に内容が明確に伝わることを重視し、他者を意識した情報発信の基礎を学ぶ。また、製本の工程を動画等で確認し、次回の完成品提出に向けた見通しを立てる。

設定の理由として、探究活動の終盤において自らの思考を形にする作業は、学習内容を整理し、達成感を味わわせるために不可欠である。表紙のデザインを通じて、自らの研究に対する責任感と愛着を持たせることが期待できる。あわせて、月例の「LIFEログ」による振り返りを実施する。これは、日々の学びを「体験・ふりかえり・アイデア・試行」のサイクルで捉え直すものであり、10月から始まるスライド作成や発表会という次段階のアウトプットに向けて、自らの成長を言語化し、学習の質を向上させる狙いがある。

3. 本時の目標

- **LIFEログの意義と方法の理解:**「LIFEログ」の意義とループリック(レベル3)を理解し、日々の体験から自己の成長や課題を言語化する「成長に繋がる振り返り」を記述できるようになる。
- **探究内容を的確かつ魅力的に表現するタイトルと表紙を作成:**自らの探究内容を的確かつ魅力的に表現するタイトルを考案し、レポートの顔となる表紙をデザインツール等を用いて適切に作成できる。
- **製本手順の把握:**製本の手順を理解し、次回の作品提出期限から逆算して、自宅での作業を含む自律的な制作スケジュールを計画できる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第14回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
2分	①本時の内容説明 ・本時の主な活動が「LIFEログの記入」と「レポートの表紙づくり」であることを把握する。 ・全体の流れを確認し、見通しを持つ。	・スライドを用いて、本時の2つの柱を明確に提示する。 ・提出期限を冒頭で意識させ、作業の優先順位を考えさせる。
9分	②LIFEログの記録 ・スクールタクトを開き、9月の学びを振り返る。 ・文字の大きさは自動調整されるため変更せず、4～5行を目安に記述する。 ・内容が多い場合はページを複製して記入する。	・「体験・評価・変化」のルーブリック(レベル1～3)を意識させる。 ・単なる事実の記録に留まらず、自身の変化や次の活動への意欲を言語化するよう促す。
5分	③表紙づくりの説明 ・表紙に「タイトル」「学校名」「学年」「氏名」を必ず入れることを確認する。 ・読み手に内容が伝わり、かつ興味を惹くタイトルのポイントを理解する。 ・Canva等の活用方法を知る。	・タイトルの重要性を強調し、優れたタイトルの例を示すなどして発想を支援する。 ・自宅で印刷が困難な生徒がいないか確認し、必要に応じて学校での印刷を案内する。
5分	④製本方法と今後の予定確認 ・簡易版または和綴じ版の製本動画を視聴し、作成イメージを持つ。 ・作品提出日や、提出以降のスライド作成・発表会の予定を把握する。	・製本は基本的に自宅作業であることを明確に伝える。
29分	⑤表紙づくり・作品修正ワーク(前半) ・各自で表紙の作成に取り組む。 ・レポートの中身が未完成の生徒や、手直しを希望する生徒は作品のブラッシュアップを優先する。 ・本日中に表紙を完成させる。	・中身の完成度に応じて、個別に進捗をサポートする。 ・Canva等の操作に戸惑っている生徒への技術的支援を行う。 ・机間巡視を行い、魅力的なタイトルが付けられているか適宜声をかける。
【2時限目】		
49分	⑥表紙づくり・作品修正ワーク(後半)	

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
1分	⑦次回の予告 ・本日中に表紙を完成させ、次回の授業で製本した作品を持参することを確認する。	・作品提出の遅延がないよう念押しする。